

1 沿革

筑西市は、平成17年3月28日に旧下館市、旧真壁郡の関城町、明野町、協和町の1市3町が合併して誕生した。万葉集にも歌われている筑波山の西側に位置し、風光明媚で豊かな自然環境に抱かれた人口約10万3千人の茨城県西部の中核都市である。

旧下館市は、古くは桓武天皇の天応元年（781年）、藤原魚名が奥州に備え三館（上館、中館、下館）を築いたといわれ、天慶3年（940年）の平将門の乱のとき下野より起った藤原秀郷（藤原魚名の子孫）が下館に拠り将門追討の軍を進めたという。天永2年（1111年）に藤原実宗が常陸介となり伊佐荘中村（今の中館）に住み伊佐氏を名のり、子孫の朝宗が伊達氏の祖となった。南北朝時代の興国4年（1343年）、一族の伊達行朝は南朝に組し足利尊氏と戦い落城し以来廃城となった。文明10年（1478年）に陸奥岩城水谷（福島県いわき市）から出た水谷勝氏が結城氏広（結城14代）より独立下館城主となり、寛永16年（1639年）、8代勝隆が備中成羽（現岡山県高梁市）へ移封されるまで160年間戦国大名として領内経営にあたり下館の今日の基礎をつくった。水谷氏移封後は水戸徳川頼房の子、松平頼重が城主となったが、僅か2年で讃岐高松（香川県高松市）に移封となり、以後は代官政治や増山氏、黒田氏の城主の後をうけて、享保17年（1732年）、石川総茂が伊勢国神戸（三重県鈴鹿市）より入封2万石の城主となり、137年を経て9代総管の時に明治維新となった。明治17年の自由民権運動には自由党員の決起があり、加波山事件の発端の地でもある。一方文化面では俳人と謝蕪村が青年時代約10年にわたりこの地方を中心に修行している。又陶芸界の巨匠板谷波山、洋画家の森田茂も下館に生まれている。明治以後県西地方の商工業の中心地として発展し、隣接8ヶ村との合併を経て昭和29年3月15日に市制施行し、下館市が誕生した。

旧関城町は、鬼怒川と小貝川に挟まれた地形で古くは沿岸の文化が特に開けており、現在県指定文化財となっている船玉古墳にその面影をみることができる。一方、小貝川の沿岸地方は、黒子高台の下から鳥羽の淡海が広がり、沿岸に住家が点在し、淡海から食糧を得て生活を営んでいたと思われる。中世には、関館に関城が築城され、南北朝時代、北朝方の「足利尊氏」の軍勢と南朝方にくみした関城主「関宗祐」が激しく戦い、その間関城に赴いた南朝の重臣「北畠親房」が関城において「神皇正統記」を完成したと伝えられている。江戸時代は、多くが旗本の領地となり、天領・寺領・各藩領と入り乱れてその支配は複雑化しており、主な産業は農業であったが、鬼怒川沿岸地帯は養蚕が盛んで絹織物の生産も盛んに行われていた。しかし、村と村の貧富差が甚だしく疲弊を建て直すために「二宮尊徳」が花田に来村し、荒地起耕や新田開発を重点に3年間にわたり仕法を行っており、この頃の特産となった梨の栽培も始め

1 総説

られた。明治に至り、旧来の村が合併して関本町、河内村、黒子村の新しい町村が誕生した。養蚕業は絹織物と共に盛んになり、梨の栽培は漸次隆盛の一途を辿り明治37年には当時画期的な共同販売組織がつけられた。その後、昭和31年8月1日に関本町、河内村、黒子村の1町2村の合併により、関城町が誕生した。

旧明野町は、倉持遺跡などから貝塚や土器が発見されたように縄文時代より早くから開け、古代は狩や鳥羽の淡海での漁業が生活の中心であった。大和国家が成立した4世紀頃は新治国に属し、大化の改新以後は常陸国新治郡、白壁郡を経て延暦年間に真壁郡と改称された。平安時代は平将門にかかわる伝承が多く、平国香の墓が東石田にあり、承平の乱や天慶の乱の中心地であった。また、当時は石田荘、村田荘、大村荘、田中荘といった荘園が発達していた。南北朝時代は、小田、関、下妻、結城氏などの支配下におかれており、海老ヶ島城は海老原右近将監輝朝によって築かれ、佐竹氏の援助を受けた宍戸義長が文禄4年(1561年)に入城してこの地域を整備した。江戸時代に入るとこの地域は天領や旗本領になり、代官や知行によって治められ、支配者が異なる相給が殆どであった中でも名主、組頭、組が組織され、農民同志が援助しあう自治制度が確立していた。1868年の大政奉還後、常陸県、若森県を経て茨城県に編入され、明治時代中期の市町村制施行により、大村、上野村、鳥羽村、村田村、長讃村が誕生した。その後、大村が町制施行したのち長讃村の一部を編入(一部は真壁町に編入)し、昭和29年11月3日にこの1町3村が合併して明野町が誕生した。

旧協和町における歴史はおおよそ1万年前の無土器時代にまで遡り、縄文、弥生・古墳時代へと北部の小栗台地を中心として人々の生活が営まれ、集落跡、古墳群等の数多くの遺跡が残されている。その後、崇天天皇の御代比奈良珠命が東国平定に派遣され、この子孫が新治の国づくりとして地域一帯を治めていた。律令時代には、出雲の臣の族が新治国の成朝に任命され、大化の改新の詔が下り律令国家が成立した。和銅年間に常陸国新治郡となり、奈良時代には町の東端古郡の丘に新治郡大領の郡衙(郡役所)や新治寺が建立され、政治・経済・文化の中心として栄えた。保延2年(1136年)には伊勢神宮の御厨領となり、小栗判官満重が地頭職となって治めていた。戦国時代になると伊勢御厨の機能は消滅し、太閤検地により新治郡は消滅した。江戸時代は支配関係が複雑化し、大名や旗本の知行領として明治に至った。明治22年の市町村制施行により、古里村、新治村、小栗村が誕生した。また、水戸線が開通し、明治29年に新治駅が建設され、町発展の重要な交通機関となった。昭和29年12月には町村合併促進法に基づき、3村が合併して協和村が誕生し、さらに昭和39年12月1日に町制を施行し、協和町となった。

2 位置

筑西市は、東京から北へ約70kmの距離にあり、市の中心は東経139度58分、北緯36度18分で茨城県の西部に位置し、東西は約15km、南北は約20kmで205.30km²の面積を有している。

南は、下妻市及びつくば市に隣接し、東は桜川市に、西は結城市、八千代町及び栃木県小山市に、そして北は栃木県真岡市に隣接している。

地形は概ね平坦で鬼怒川、小貝川などが南北に貫流し、肥沃な田園地帯を形成している。

道路体系は、市のほぼ中心を東西方向に国道50号、南北方向に国道294号が整備され、この2路線が交差した部分が市の中心部になり、さらにここから石岡市・つくば市・古河市方面に放射状に県道が整備されている。

鉄道は、東西にJR水戸線が走り、下館駅を起点として南は取手まで関東鉄道常総線、北は茂木まで真岡鐵道真岡線が運行されている。

3 土地

平成29年1月1日現在

総面積(km ²)	東 西(km)	南 北(km)	海 抜(m)	
			最 高	最 低
205.30	15	20	200	20

資料: 課税課

4 地目別土地面積

各年1月1日現在 単位: km²

年	田	畑	宅地	山林	原野	雑種地	その他	西暦
平成27年	65.92	52.04	31.62	12.94	0.81	10.08	31.75	2015
平成28年	65.88	51.85	31.66	12.86	0.80	10.34	31.91	2016
平成29年	66.25	51.17	31.73	12.53	0.80	10.76	31.91	2017

注) 四捨五入の関係上、合計が総面積と一致しない。

資料: 課税課(概要調書)

5 気象

年(月)次	気 温(°C)			風 速(m/s)		降水量 (mm)	西 暦
	平 均	最 高	最 低	平均風速	最多風向		
平成27年	14.7	36.4	-6.6	2.3	北)	1,250.5	2015
平成28年	14.6	36.7	-7.6	2.2	北)	1,213.0	2016
平成29年	14.0	35.2	-8.5	2.4	北)	1,176.5	2017
1月	2.7	18.8	-8.5	2.4	北	11.5	
2月	4.4	20.8	-6.4	2.9	北北東	14.0	
3月	6.4	18.0	-4.6	2.4	北	62.0	
4月	13.0	27.4	1.0	2.9	南	83.0	
5月	18.9	31.9	6.0	2.5	南南東	54.0	
6月	20.9	29.7	11.1	2.4	南南東)	76.0	
7月	26.3	33.9	20.3	2.2	南南東	246.5	
8月	25.1	35.2	18.4	1.9	北北東	95.0	
9月	21.5	32.8	13.2	2.1	北北東	128.5	
10月	15.7	28.5	3.7	2.3	北	358.5	
11月	9.4	22.5	-1.8	1.8	北	33.0	
12月	3.9	16.3	-6.6	2.4	北	14.5	

資料: 水戸地方気象台

注1) 数値等は下館地域気象観測所(筑西市西石田)のデータ。

注2) 「値)」は統計値を求める上で、対象となる資料の一部が許容する範囲内で欠けている場合(準正常値)。

6 市民の暮らし

<p>人口密度 1km²あたり 500.8人</p>  <p>筑西市</p> <p>H29</p>	<p>世帯人口 1世帯あたり 2.8人</p>  <p>H29</p>	<p>出生 1日あたり 1.9人</p>  <p>H29</p>
<p>死亡 1日あたり 3.6人</p>  <p>H29</p>	<p>婚姻 1日あたり 1.1組</p>  <p>H28</p>	<p>離婚 1日あたり 0.6組</p>  <p>H28</p>
<p>転入 1日あたり 7.9人</p>  <p>H29</p>	<p>転出 1日あたり 8.6人</p>  <p>H29</p>	<p>市税 1人あたり 140,687円</p>  <p>H28</p>
<p>市の予算 1人あたり 700,512円</p>  <p>H29</p>	<p>市民所得 1人あたり 3,023千円</p>  <p>H26</p>	<p>市職員 市民 110.9人に1人</p>  <p>H29</p>

<p>消防職員 市民952人に1人</p>  <p>H29</p>	<p>医師 市民851人に1人 歯科医師 市民1,266人に1人</p>  <p>H28</p>	<p>教員 教員1人あたり生徒数 12.3人 児童数 14.0人</p>  <p>H29</p>
<p>救急出動 1日あたり 11.8回</p>  <p>H29</p>	<p>火災 1か月あたり 5.6件</p>  <p>H29</p>	<p>交通事故 1日あたり 0.7件</p>  <p>H29</p>
<p>刑法犯 1日あたり 発生 2.5件 検挙 0.7件</p>  <p>H29</p>	<p>ごみ処理量 1日あたり 106.6 t</p>  <p>H28</p>	<p>し尿処理量 1日あたり 110.2 t</p>  <p>H28</p>
<p>商店数 市民106人に1店舗</p>  <p>H26</p>	<p>水道配水量 1日あたり 26,843m³</p>  <p>H28</p>	<p>下水道供用開始区域における 水洗化率 80.8%</p>  <p>H28</p>

7 茨城県内での「ちくせい」早わかり

分類	項目	筑西市の 指標値・実数値	県内順位 (※注1)	県内44市町村の 平均値	基準日・年・年度
土 地・ 人 口	総面積	205.30km ²	12位	-	平成28年10月1日
	可住地面積	192.34km ²	2位	-	平成28年10月1日
	総人口	103,788人	8位	-	平成28年10月1日
	一般世帯人員 (1世帯当たり人員)	2.87人	10位	2.56人	平成28年10月1日
	人口密度 (総面積1km ² 当たり)	506人	22位	477人	平成28年10月1日
	年少人口割合 (14歳以下)	12.0%	23位	12.5%	平成28年10月1日
	生産年齢人口割合 (15～64歳)	59.1%	20位	59.9%	平成28年10月1日
	老年人口割合 (65歳以上)	28.9%	22位	27.6%	平成28年10月1日
	出生率 (千人当たり)	7.2‰	17位	7.5‰	平成27年
	死亡率 (千人当たり)	12.3‰	18位	10.8‰	平成27年
	1人暮らし老人数 (65歳以上1万人当たり)	1,052.8人	32位	1,297.4人	平成27年10月1日
	未婚率	20.80%	28位	21.63%	平成27年10月1日
	外国人割合	2.09%	17位	2.00%	平成28年12月31日
	経 済・ 財 政	市町村内総生産	411,424百万円	8位	-
製造品出荷額等 (4人以上の事業所)		628,941百万円	6位	-	平成26年
商品販売額		196,584百万円	9位	-	平成25年
小売事業所売り場面積		125,033m ²	7位	-	平成26年7月1日
就業構造(第1次産業)		8.37%	15位	5.88%	平成27年10月1日
就業構造(第2次産業)		36.06%	13位	29.75%	平成27年10月1日
就業構造(第3次産業)		55.57%	35位	64.37%	平成27年10月1日
財政力指数(※注2)		0.694	21位	0.699	平成27年度
実質公債費比率(※注3)		9.3%	11位	7.6%	平成27年度
市町村民税 (住民1人当たり)		60.65千円	21位	66.30千円	平成26年度
固定資産税 (住民1人当たり)		60.75千円	18位	66.11千円	平成26年度
歳出決算総額 (住民1人当たり)	395.47千円	20位	383.87千円	平成26年度	
教 育・ 文 化	保育所数 (10万人当たり)	20.23所	23位	19.71所	平成28年4月1日
	幼稚園数 (10万人当たり)	4.82園	40位	9.73園	平成28年5月1日
	公立小学校児童数 (教員1人当たり)	14.18人	22位	15.11人	平成28年5月1日
	公立中学校生徒数 (教員1人当たり)	13.16人	19位	13.07人	平成28年5月1日
	公立小学校長期欠席率 (児童千人当たり)	1.88‰	38位	3.65‰	平成27年度
	公立中学校長期欠席率 (生徒千人当たり)	19.12‰	40位	29.87‰	平成27年度
	運動広場数 (10万人当たり)	20.08所	10位	13.82所	平成27年10月1日

分類	項目	筑西市の 指標値・実数値	県内順位 (※注1)	県内44市町村の 平均値	基準日・年・年度
居 住 ・ 環 境	水道普及率	91.29%	34位	93.88%	平成27年3月31日
	汚水処理人口普及率	72.7%	31位	82.6%	平成28年3月31日
	下水道普及率	32.7%	34位	60.8%	平成28年3月31日
	ごみ収集量 (1日1人当たり)	745g	41位	934g	平成27年度
	道路実延長 (総面積1万㎡当たり)	136.46m	8位	90.72m	平成27年4月1日
	市町村道舗装率	67.76%	20位	63.59%	平成27年4月1日
	自家用乗用車保有台数 (千人当たり)	721.2台	12位	665.1台	平成28年3月31日
社 会 保 障 ・ 医 療	国民年金受給金額 (受給権者1人当たり)	647.5千円	30位	656.6千円	平成28年3月31日
	生活保護被保護実人員 (千人当たり)	8.0人	18位	9.0人	平成26年度
	一般病院数 (10万人当たり)	4.8施設	24位	5.5施設	平成27年10月1日
	一般診療所数 (10万人当たり)	76.5施設	4位	59.1施設	平成27年10月1日
	医師数 (10万人当たり)	108.6人	20位	169.5人	平成26年12月31日
	看護師・准看護師数 (10万人当たり)	836.4人	18位	949.3人	平成26年12月31日
	歯科診療所数 (10万人当たり)	53.6施設	7位	47.9施設	平成27年10月1日
	歯科医師数 (10万人当たり)	71.5人	9位	65.7人	平成26年12月31日
	生活習慣病による死亡者数 (10万人当たり)	696.4人	14位	593.4人	平成27年
	国民健康保険医療費 (被保険者1人当たり)	325,730円	13位	310,630円	平成27年度
安 全	火災発生件数 (10万人当たり)	32.39件	37位	44.50件	平成26年
	建物火災損害額 (1人当たり)	664円	29位	1,497円	平成26年
	交通事故発生件数 (千人当たり)	2.96件	31位	3.98件	平成27年
	交通事故死傷者数 (10万人当たり)	386.3人	33位	523.7人	平成27年
	刑法犯認知件数 (千人当たり)	8.95件	25位	9.97件	平成27年

資料：市町村早わかり(編集・発行：県統計課、発行月：平成29年6月)

注1) 各項目ごとの県内順位は、数値を見やすくするための目安として、大小順に付したものである。

注2) 財政力指数は、地方公共団体の財政力を示す指数であり、財政力指数が高いほど財源に余裕があるものとされる。

注3) 実質公債費比率は、自治体の実質的な借金が財政規模に占める割合のことであり、数値が高いほど返済の負担が重いことを示す。